

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年4月1日

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C		
横断的な課題	多様な暮らし方・働き方の提案による移住定住の推進・地域人材の確保						
地域重点政策	2 観光誘客や移住者増加につながる地域の魅力を高め、発信する				北アルプス地域振興局		
実施機関	北アルプス地域振興局			担当課	所属	企画振興課	農業農村支援センター
事業名	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業				電話	0261-23-6501	0261-23-6510
				E-mail	kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	kita-aec@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「田舎暮らし」や、「農ある暮らし」への志向が高まる中、農に関心を持つ移住希望者等や定年帰農者等地域住民の「農ある暮らし」をサポートし、こうした取組を北アルプス地域の魅力として情報発信することで、移住者など地域に人を呼び込むことを目指す。 また、取組の中心として農産物直売所を活用することで、直売所の活性化や地消地産の推進を図る。					
	現状と課題	[現状] ・「地方回帰」の流れによる都市住民の田舎暮らし、農ある暮らし志向の高まり [課題] ・長野県の中で移住者からいかに「北アルプス地域」が選ばれるか ・「農」を求める人々をどう取り込むか。また、農ある暮らしを始めた人々のライフスタイルを継続するための支援をどのように行うか。					
	内容 (変更後の内容)	* 県とJAの協定に基づく取組として、県現地機関と大北農業協同組合で連携して実施 ○ 農ある暮らしサポート直売所設置事業 実施場所: JA大北農産物直売所「ええっこの里」 事業内容 ① 栽培技術等に関するサポート(随時相談対応) ② 季節の野菜づくり相談会の開催(6月以降、月2回程度) ③ 移住・観光情報の提供(北アルプス地域移住・観光インフォメーション) 局では、農ある暮らしに興味がある地域住民及び移住希望者に向けて、農ある暮らしサポート直売所の情報発信を行う。 ○ 北アルプス地域農ある暮らし魅力発信事業 R2~R4、当地域で実践できる「農ある暮らし」事例紹介動画を作成。5市町村分完成したので、これらの動画を活用し、当地域の魅力として「農ある暮らし」を発信。 発信方法: 市町村やJAの窓口等における案内用に動画紹介リーフレットを作成。					
事業期間	令和5年4月			～	令和6年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画(実績)額	備考		
	農ある暮らしサポート直売所設置事業	サポート直売所の設置		145,200			
	北アルプス地域農ある暮らし魅力発信事業	事例紹介動画のリーフレット作成		10,800			
	合計		156,000				
指標及び達成状況	成果指標			目標値	成果	達成状況	
	サポート(随時相談対応) 年間件数			20	2	○ 達成	
	季節の野菜づくり相談会 参加者数			20	11	● 一部達成	
	圏域移住パンフレット持ち帰り数			150	150	○ 未達成	
	農ある暮らし動画 年間閲覧数			1650	1164		
事業実績・成果	・季節の野菜づくりや栽培技術に関する相談に応じられるよう、JA大北の技術員や北アルプス農業農村支援センターの職員が技術的な相談に無料で応じる相談会を開催した。 6月以降、2回/月の開催を計画したが、農繁期までの広報が行き渡らなかったこともあり利用が伸びなかった。 ・昨年度までに作成した農ある暮らし紹介動画について、リーフレットを作成し、また、地元紙への掲載により、魅力を発信した。また、移住相談会などでご覧いただくことで、農ある暮らしの実際の様子を知っていただき、農ある暮らしに関心がある方の移住相談に役立てることができた。						
今後の方向性	・来年度は野菜づくりや栽培技術のサポート相談会を継続し、農ある暮らしを始めた方に情報が届くよう取組内容の周知を工夫する。(利用数を見て次年度以降の判断を行う。)						